

「新基地建設 NO！」のオール沖縄候補が揃って勝利！！ ～沖縄県知事選挙支援に参加してきました①～

11月16日、辺野古基地建設反対！保革を乗り越え、オール沖縄の支援を受けた翁長沖縄県知事が誕生しました。政府の沖縄への基地押し付け政策（辺野古へ建設予定の基地は耐用年数200年！）に沖縄県民がNO！を突きつけた歴史的選挙です。この選挙支援に11月11日～14日まで参加させていただきましたのでご報告させていただきます。

選挙支援は、朝8時の沖縄協同病院前道路でのアピール行動から始まりました。旗を持っていると、手を振ってくれる人が非常に多く、選挙への関心の高さと翁長候補への期待を感じました。次に沖縄本島の北の端（車で2時間半！）から順にピラマキのお手伝いをしました。配る時に苦労したのが、沖縄の昔の家には「郵便受けが無い」ことです。年賀状の配達数全国最低は伊達じゃない・・・きっと対面での挨拶が多いのでしょう。3日間で1000枚は法定ピラマキを配らせていただきましたが、会う人は皆様ちゃんと選挙の話聞いていただけました。

私は今まで3度沖縄に行ったことがあります。1度目は2003年の青年ジャンボリーです。現地のフィールドワークで平和への決意を新たにさせていただきました。2度目は2013年の事務幹部学校です。沖縄での戦争の歴史、本土復帰の戦い、その後の基地をめぐる戦いの歴史を学ばせていただきました。3度目が今回の選挙支援です。沖縄では常に勉強・成長させていただいています。



民医連も支援した翁長候補は、県民を裏切った仲井眞候補に、10万票の大差で勝利

今回全国から集結した民医連職員皆様ともお話しさせていただきました。多くの方が選挙や学習でしか沖縄を訪れたことがない人でした。勿論自分もその一人です。民医連職員として沖縄を訪れた際にはせっかくの機会なので様々な学習・経験を、と思うのは当然です。しかし、本当は純粋な観光・レジャーで訪れることができる沖縄へと変わることが重要だと思います。

次回こそは「個人的に観光」として、翁長知事の誕生した沖縄にいきたいと思います。そして、やがては「基地の無い沖縄」にも行ける日が来ると良いと思います。そのためにも香川からの支援、活動に尽力して行きたいと思います。

（へいわこどもクリニック 宮西剛司）

リレー



投稿

いつでも憲法

県連理事に続いて各事業所の管理者・職場長みなさんに、憲法に対する想いをリレーで投稿してもらいます。

この記事に依頼されたとき、まず何を書いたらいいのかと悩んでしまいました。よく考えると「憲法」と言われても知らないことが多く、私にとって憲法を深く考える機会には実は少なかったのか、それともあまりよく考えてこなかったのかもかもしれません。なので、他の方の記事のようなことは書けませんが、私が思うことを書かせていただきます。

「集団的自衛権」「特定秘密保護法」と言われてもよくわからないというのが私の感想です。でも、最近よく思うことが民医連の事業所で働いていなかったら、もっと知らないまま生活していたんだろうなということです。夏に行われた香川県知事選挙で問題となった四国新幹線でもそうです。あんなにも莫大な費用がかかり、1秒短縮に2億円も必要なこと。瀬戸大橋上は100キロ制限があるらしく、新幹線導入してもそんなにメリットがないこと。既存の路線は第3セクター化してしまうことなど、他ではこんな話をほとんど聞くことはないのではないのでしょうか。第1回評議員会方針の内容も同じです。社会保障制度改革推進法に基づき介護保険制度の4つの切り捨てなど、表面化しているのかもわからないまま進んでいくことが多いと感じます。

本来ならもっと報道され、私たちが情報を知る機会が得られるべきですが、実際には少ないです。ただでさえ少ない情報ですが、知る権利は保障されるべきです。特定秘密保護法などが今後どこまで生活の中に入り込んでくるかわかりませんが、法律が暴走しないように、また当たり前と思っている生活のひとつひとつが憲法で守られていることを再確認していきたいと思います。

高松協同病院地域ケア部副部長 西淵千代